

学校評価はどうして必要なのでしょう？

それは

信頼される開かれた学校づくり
学校運営の改善
学校への支援の充実

のためです。



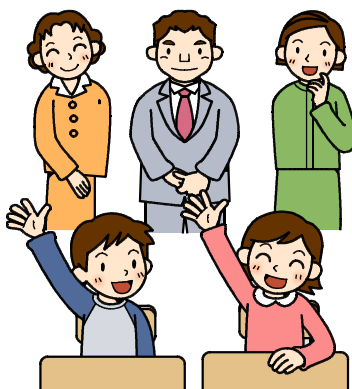
信頼される開かれた 学校づくり

学校は自己評価と学校関係者評価を行い公表します。そのことから保護者・地域住民の学校に対する理解と参画協力を得て、信頼される開かれた学校づくりを進めます。



学校運営の改善

学校は目標を設定し、それに向かって取り組んだ成果と課題を把握します。そのことについて話し合いながら取り組みの適切さを確かめ、組織的・継続的に学校を改善していきます。



学校への支援の充実

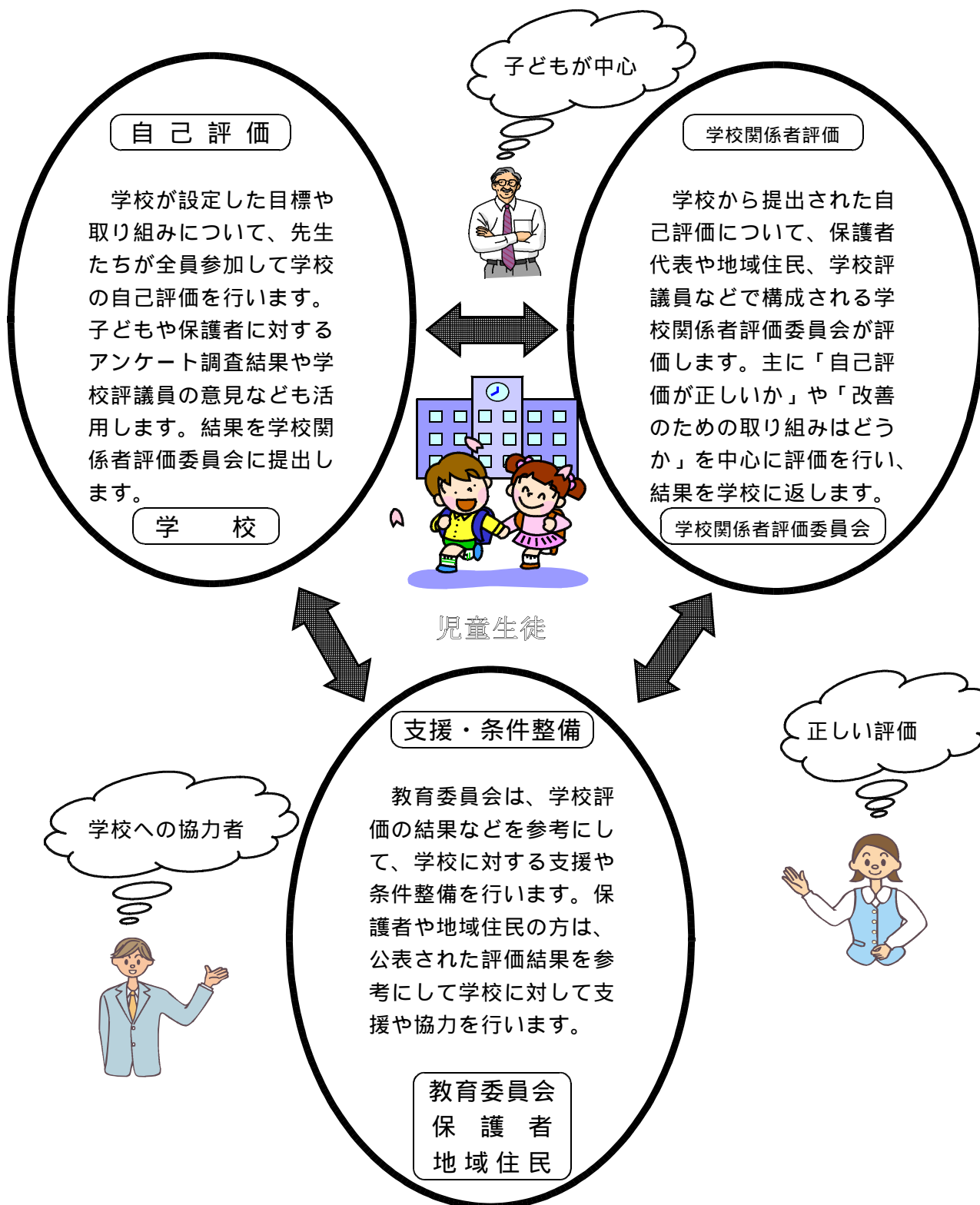
教育委員会などが学校評価の結果を見て、学校に対しての条件整備など必要な支援を行い、よりよい学校づくりを目指します。また、公表結果を見ての保護者や地域住民の学校への支援も期待します。



保護者・地域住民のみなさんは、学校を改善するための協力者・支援者です

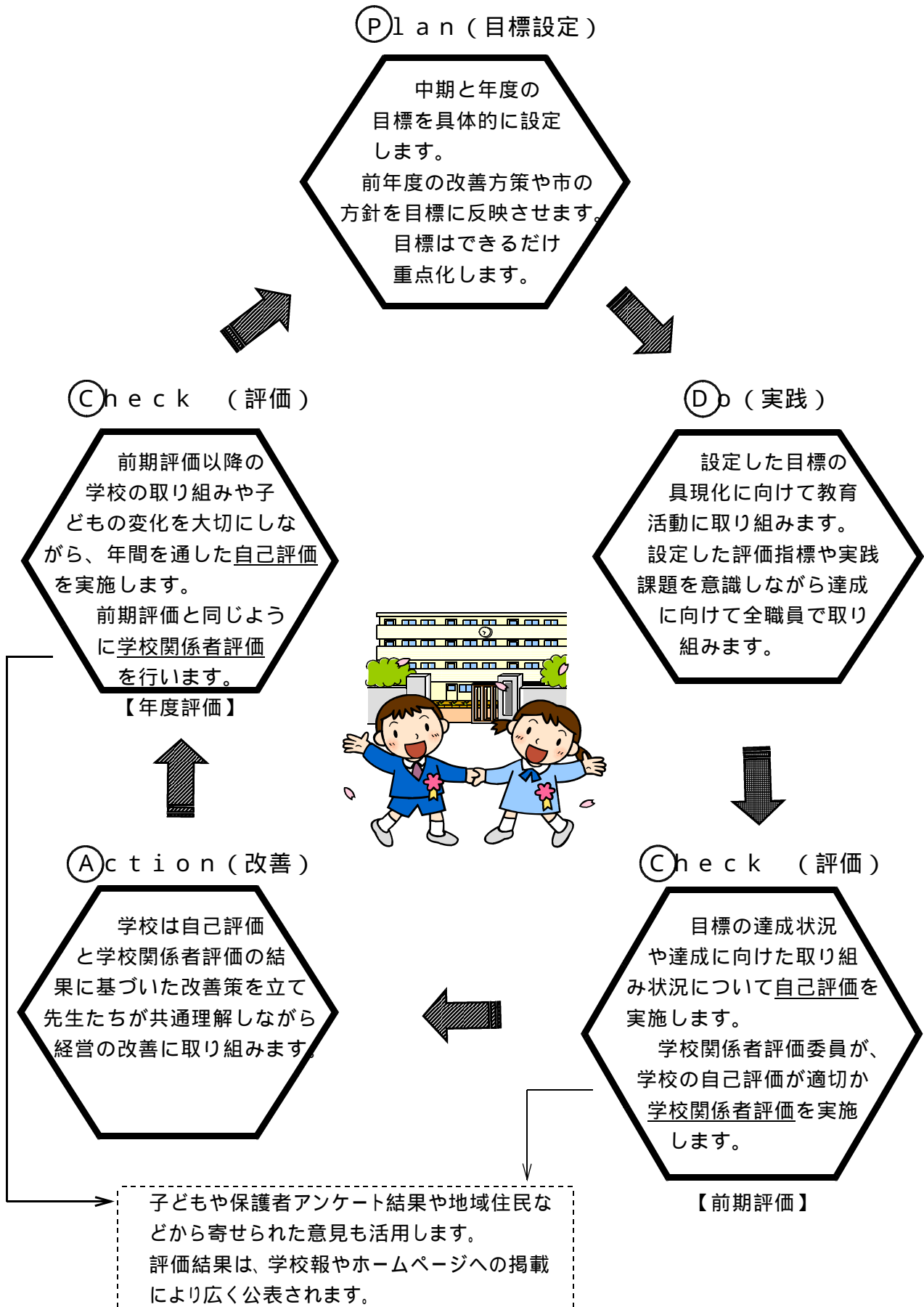
大館市では、平成18年度・19年度の2年間、文部科学省の指定を受け学校評価の研究に市内10校が取り組みました。研究を進めることで上記3つの成果を確認することができました。平成19年度は市内全小・中学校で新しい学校評価に取り組みました。平成20年度以降も学校評価を学校の柱として考え、全小・中学校が継続して取り組んでいます。

学校評価はこのようにして行われます



学校関係者評価委員は、保護者代表、地域住民代表、学校評議員、連続する学校の教職員代表、地元関係団体や企業、警察など学校に関係する方の中から学校が推薦し、教育委員会で承認することになります。適当な人数は4～5名と考えています。

学校評価でP D C A Cサイクルを確立します！

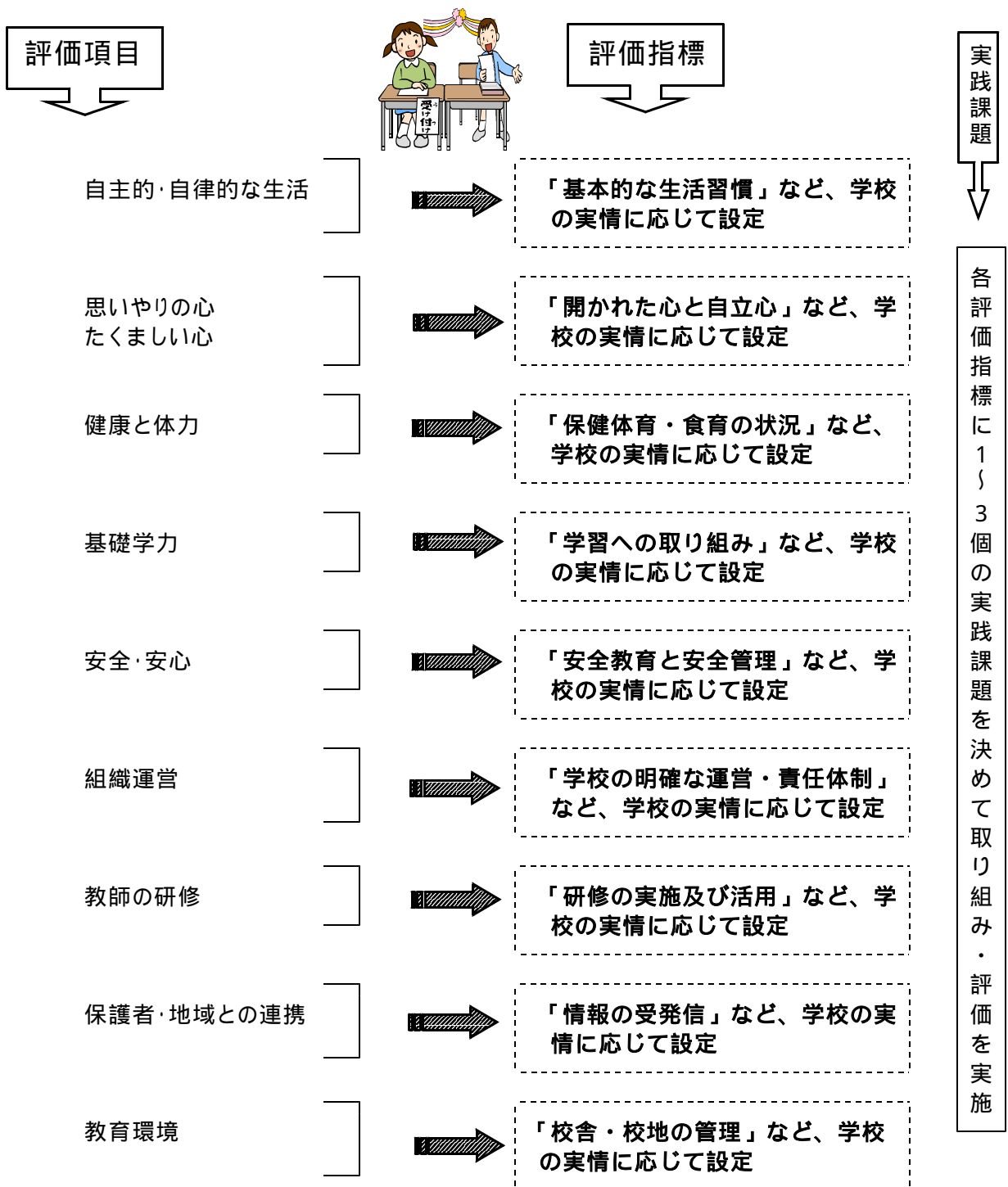


大館市の評価項目・評価指標です

文部科学省では「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」を作成して学校経営の内容を大項目（以下、評価項目という）を10項目例示しました。

大館市ではガイドラインを参考にしながら7つの評価項目にまとめましたが昨年度は反省を踏まえて9項目に変更しました。平成20年度から、より焦点化できるように9項目の中から選択できるようにし、評価項目数は学校で決めることにしました。

評価指標も、学校の実情に合わせて、学校で決めることにしました。



「評価項目」は学校の大目標、「評価指標」学校の中目標、「実践課題」は学校の小目標と考えることができます。